



radio Camnetに続くマガジン版  
**雲心月性**

大槻ワールドへ  
ようこそ

Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？

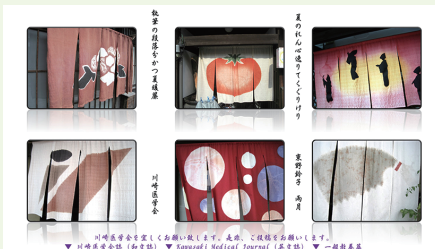
大槻は川崎医科大学の中の川崎医学会の運営委員長でデジタルサイネージに機関誌への投稿を促すスライドを月の前半 2 枚、後半 2 枚で流しています。Ms. Keiko C の描いたイラストと僕の写真です。2019 年の 7 月と 8 月のスライドを紹介します。



真備町の夜景です。2018 年に西日本豪雨で大きな被害を受け、まだまだ復興の途中です。新型コロナウイルスも大変ですが、復興にも注力しないと。



夏の短い夜にも、夢が溢れてきます。瞑想の中で、黄色い蝶が、夢に向かって飛んできます。



岡山県真庭市勝山町は暖簾で有名。夏の涼しさを呼び込みますね。



さて、みんなも水浴びしましょう。暑いよ、熱いよ。



夏祭り～ 2020 年は実施できないかも知れませんが、せめて写真で振り返って、気持ちだけでも浮き立ちましょう！



2020 年は、夏祭りには行けないかな？浴衣を着て、金魚すくいなんか……。難しいかな。



西瓜は・・・井戸で冷やして、塩を掛けて・・・美味美味しいよね！！



少しだけ秋の気配が忍び寄ってきた晩夏に～海外に行った思い出を振り返ってみましょう。欧州も落ち着いていたらいいのだけど。

さて、オリジナル曲の歌詞紹介。  
 【浴盆炉】という楽曲で、iTunes ではリリースしていません。タイトル通り、熱い曲です。

日に焼けた腕に 汗が湧き出るのが 妙に気持ちよく 感じられる

こんな日は 君に 逢いにゆこう  
 飾り立てた言葉も 信じられそうだ

アスファルトが暑さで 腹を抱えながら  
 大声で笑ってる 踵の下  
 こんな日は 君に 逢いにゆこう  
 真っ白なハンカチ 汗でドロドロ

※君は毎日 歌っていた  
 君は毎日 歌っていた  
 夏の 浴盆炉の中で  
 僕を 愛してあげると

店先の作り物の かき氷までが  
 たらたらと汗流し 溶けてゆくよ  
 こんな日は 君に 逢いにゆこう  
 陽射しから逃げてた 白い素肌に

心臓がとうとう 汗をかき出したようだ  
 真っ赤にはじけ散る 爪の先から  
 こんな日は 君に 逢いにゆこう  
 お土産に燃える 太陽連れて

※ repeat  
 愛しておくれ あつく あつく  
 愛しておくれ あつく あつく  
 愛しておくれ あつく あつく  
 夏の 浴盆炉の中で  
 \*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*

2 か月分のコラムですので、時事的な話題は避けてしまっていますが、COVID-19、アップされる頃にある程度の終息が見えていることを願っています。

♪オリジナルCD  
 プレゼントします！  
 詳しくは  
 プレゼントコーナーで

プロフィール  
 大槻 剛巳  
 (おおつき たけみ)

川崎医科大学衛生学教授  
 0歳：京都府福知山市にて生誕  
 14歳：京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位  
 14歳：KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用  
 15歳：倉敷市に転居  
 15 & 18歳：NHKあなたのメロディー出演  
 18歳：YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出場  
 20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり  
 24歳：川崎医科大学卒業  
 以降：川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事  
 1992-1996年：米国留学(医学研究)  
 1996年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載  
 2009年：Camnet CH-F (10-19) パーソナリティ担当  
 現在に至る